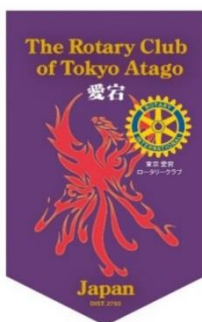


No. 10 2013/12/3

WEEKLY REPORT 2013~2014



東京愛宕ロータリークラブ

会長 尾関勇 ・ 幹事 佐藤秀樹
 副会長 石渡美奈 ・ 副会長 片山謙次
 副会長 波多野まみ
 例会場 東京アメリカンクラブ
 例会日 毎週火曜日 8:00~

~四つのテスト~

1. 真実かどうか
 2. みんなに公平か
 3. 好意と友情を深めるか
 4. みんなのためになるかどうか
- 言行はこれに照らしてから行うべし

■本日の卓話

Rotary Club Freising
Dr. Udo Kattein
**「ALCOHOLIC BEVERAGES
 A REVIEW」**



東京愛宕ロータリークラブ例会での、初のバナー交換

先週は、ビジターでご来会の、Dr. Udo (Freising RC) とバナー交換をさせていただきました。

■ 11月26日 (火) 会長挨拶 会長 尾関 勇

本日は、まずシスコシステムズ代表でいらっしゃる平井先生に卓話を頂けるという大変貴重な機会を頂きました。おそらくロータリーの卓話は初めてということで、石渡副会長の普段からご縁があることと大変感謝を申し上げます。

ロータリーは朝早いのですが、このように勉強させていただくことは、始業前に大変ありがたいこと、貴重な機会と捉えなければならぬと思っています。また、本日はドイツのFreising RCより、石渡会員の師匠であります、Dr. Udo Katteinがいらしています。ありがとうございます。また、たくさんのごゲストがいらしています。本日は非常に豊かな顔ぶれがミックスという形になっています。大変いい例会をスタートさせていただいたと感謝申し上げます。

さて、ロータリーのことに話を移しますと、先日補助金セミナーというものに行ってきました。ロータリーはロータリー財団とロータリークラブと二つで成り立っており、運用し、世界の平和紛争解決や貧困の撲滅等のあらゆることにお金を投じて、汗を流し、ロータリアンが120万人活動をしています。かの有名な、マイクロソフト社のビル・ゲイツ氏もファンデーションを通じ、既に400億円程、ポリオ(小児麻痺)の撲滅に動いてらっしゃる。撲滅にはあと3か国、ロータリーのいい部分だと思いますが、そのために、補助金の有効な活用というのを、私と橋場会計がじっくり学んでまいりましたので、皆さんにお伝えしたいと思います。そこでも、また先週の300人規模の合同例会でも思いましたが、知らされたのが直前で、メンバー全員出席できなかったのですが、そこで思ったのが、補助金セミナーも来なければいけない、ではなく、来た方がいいということ。スケジュールをもっと早くから教えてくれればいいのかと思ったが、その考えは間違いでした。ロータリーは自分からスケジュー

ルを確認し、自分からやるべきことを、率先して来なければならない。だから、各国のセレブリティの方から専門職の方が、自ら望んで自ら動いて活動してらっしゃる、もちろんお子さんができて中々できない時や、リタイヤする方もいますが、自ら動いていかなければならないと思っています。

3月1日に補助金申請をするまで、私たちクラブが国際的に何ができるか、比嘉委員長の前、じっくりそれを練って始める。やらなければ、それも一つですが、やらなかったね、という評判が一番やはり怖いかと思しますので、皆さんで奉仕プロジェクトを考え、自分の事業や職業を通じて、何ができるかを考えていきたい、そのように思っております。

■前回の卓話 シスコシステムズ合同会社 代表執行役員 平井 康文 様 テーマ 「インターネット時代の組織経営」

みなさんおはようございます。ロータリークラブにお伺いするのは初めてございまして、またこの愛宕ロータリークラブは生まれたばかりということでございまして、嬉しく思っております。

まさに、ロータリークラブはファミリーという感じが致しますが、シスコも「シスコファミリー」という単語がございます。社員、社員の家族、一緒の仕事をさせて頂くビジネス企業様含めて、一つのファミリーとしてとらえております。

今日は、インターネット時代の組織経営についてお話させていただきます。皆さん、日々インターネットには接していると思いますが、今日において電気・ガス・水道に次いで第4の社会基盤になっているかと思っております。

私は3年前からシスコの社長でございまして、シスコは日本法人は昨年で20歳、21年目になっております。この20年間を振り返りますと、日本のインターネットの歴史がそのままシスコの歴史と言っても過言ではありません。元々はルーター等ネットワークの端と端を結ぶ機能から始まり、今は幅広い総合ITを提供する企業となっております。今話したインターネットですが、進化を遂げております。接続することで、ホームページを見ることから、インターネットでビジネスが起きます。1990年のクリスマスに、世界で初めてオンラインショッピングができました。たかだか23年前です。そこから、ソーシャルメディア、モバイルの世界へ。また最近ではクラウドコンピューティング、色々なソースを所有するのではなく、必要な時に自由に使うというモデルも出てきているのがこの世界であります。

そして次が、世の中のあらゆるものをインターネットにつなぐ今日お現在つながっていないものあらゆるものをつなぐと、想像しえない新しい価値が生み出される。例えば、自動車と信号機と高速道路が繋がったら、渋滞解消できるでしょうし、事故も減少するでしょう。救急車と、救急車の中にある検査機器と病院とドクターが繋がれば、治療も早くなり、生存率も高まるでしょう。学校で生徒のノートと鉛筆と教科書と黒板が繋がれば、記憶をするだけの教育から、考える教育へと進化することもできるかもしれません。これが、これからの次世代のインターネットです。今地球上で、1分間の中で、2億弱の電子メールが飛び交っています。51万のコメントがFacebookに載っています。たった60秒です。1万3千のアプリケーションがiPhoneにはあるそうです。そんな世界に我々は今いるわけです。

それを振り返ってみますと、1980年代、私はまさにPC98、BASIC世代です。90年代になるとインターネット世代となります。あらゆる情報をインターネットから取ることが可能。そこで一つの世代格差が起こったわけです。それが2000年代、同じインターネット世代ですが、すべてがタダを経験している世代。メールも写真共有も、全てタダ。それが2010年代、今の一番若手、まさにモバイルソーシャルを縦横無尽に使いこなせる世代。昨年の秋に、シスコが春秋の主要十数か国のジェネレーションワイク、18歳～30歳の学生・社会人を対象にして行った調査があります。100%、朝起きたら自分のスマホをチェックするのがこの世代。スマホは207本目の骨になっている。財布を無くすより、スマホをなくす方が怖いというのがこの世代です。そういった4世代が、企業の中で、ITという観点で見たときにいっしょのわけです。

そして、仕事を楽しみながら新しい可能性を発見していくというのが、これから非常に求められる施策方針だと思います。シスコでは、2011年度日本経営品質賞受賞させていただきましたが、それまでの約4年間の歩みを振り返りますと、ずっとこの方程式で社内では行っていました。中長期のビジネスの成長を実現には、やはりお客様満足度を高めていかなければならない。ですが、お客様満足度に合致する経営では、イノベーションは起こらないというのが私たちの考えです。むしろ、期待値を超えるサプライズを与えるのが、何が原動力か。行き着いたのが社員でした。社員がしっかりエンゲージされていることが、新たなテクノロジー、製品を生むし、感動をもたらすと思います。顧客と社員。社員の満足度を求めているわけではありません。働き甲斐のある職場を実現していかなければならないと思います。

その中で私たちが目指した組織は、サッカー型組織。今までの野球型は先攻と後攻が分かれ、ポジションや動きが決まっている、被動型のスポーツ。一方サッカーは、ボールを取ったら攻めて、取られたら守備に、というダイナミズムとリアルタイム性のある形。アメフト型という声もありますが、私が最近思っているのが、長年続けているオーケストラ。それぞれが違う役割を与えられ、一人一人がその役割を全うしようとする。そしてそれをまとめるのが指揮者。これからはこのオーケストラ型かと思えます。これらは共通の価値観で成り立っている。この共通の価値観形成のためのリーダーシップモデルが、オーケストラだとしたら、共通の価値観に当たるのが、企業文化になります。弊社も、シスコカルチャーをとてつもないエネルギーをかけています。共感をもたらし、そこから共鳴、共振させることが、増幅させることが非常に重要であり、シスコカルチャーをより大きなものにする機会を設けています。各部門のワークショップ、自分たちの発想で取り組んでくれています。全役員が集まって、言葉で表現しているものを、絵で表現してみようとした描くワークショップ。弊社の役員は多国籍であり、言語を超えた何か大切なものをお互い見つけ出すために、絵の力を借り行いました。

あらゆる場面を利用押して、シスコカルチャーに触れて、自らの言葉で語る。書き留めた言葉を自分のことばにして、誰かに伝えようとするれば、自分の中に残ると思います。同時に自らの言葉で語っていくことを続けていく。また、これはロータリーにも通じると思いますが、社会貢献を重要な経営計画の柱にしています。加えて仕事のチカラプロジェクトを行いました。

◆◆ 前回のニコニコBOX ◆◆ ￥17,000
累計総額 ￥403,500

<11月26日分>

- ・平井社長、本日は早朝よりご来会、真にありがとうございます。世界をご覧になっている平井社長のお話を心より楽しみにしております。And Udo, Thank you for coming!! (石渡)
- ・昨日の大雨が嘘のように、秋晴れとなりました。シスコの平井先生、本日はありがとうございます! (尾関)
- ・転居後初めての例会をなりました。会場まで圏内になったので、益々ロータリー活動に注力していきます。(猿田)
- ・皆さん、くれぐれも体調管理、お気をつけください。(山田)
- ・親愛なる島津秀隆さん、本日はようこそお越しくださいました。平井社長のスピーチを楽しみにしておりました。宜しく願い致します。(川井)
- ・先週はインド出張でした。やはり、食事に当たりました。会長や柳さんは、何故平気なのですか? (Alex)
- ・皆様、奉仕のアイデア、宜しくお願いします! (比嘉)
- ・今年もあと一ヶ月少しですね。本日は、平井様の卓話、楽しみです。(若山)

いわきで年間を通じて運営され、人材をいわきから排出するのを目標にしている。そこへ、全役員が乗り込み、リーダーシップについて授業を行いました。生徒会長、副会長、既に高校生となったOB・OGと、100名くらいが集まり、そこで役員が本にあるようなリーダーシップ論ではなく、自分の失敗論を話すのです。これはある意味社会貢献の一環なのですが、実は、裏で脈々と流れる一番のポイントはシスコカルチャーを自らの言葉で、体験で語るということ。恥ずかしいですが、真実の言葉は、本で学んだことよりも、子供たちには何百倍も力があったんです。社会貢献と共に、シスコカルチャーを高める活動として行っています。多様な働き方を社員に提供していますが、自分のライフを大切にしたい、ライフ&ワークブリッジ(バランスだとどちらかに偏るため)であるべきと、それがこれからの仕事のやり方だと、実践していきたいと思っております。



シスコシステムズ合同会社 代表執行役員 平井康文 様



波多野副会長

片山副会長

お誕生日おめでとうございます。

■12月のプログラム

- 12/10 (火) 夜移動例会@箱根 朝例会なし
- 12/17 (火) 建築家 隈研吾様 (尾関会員ご紹介)
- ※業務の関係上、別の方に変更の可能性あり
- 12/24 (火) 比嘉秀年会員 イニシエーションスピーチ

国際ロータリー第2750地区

東京愛宕ロータリークラブ

<http://atagorotary.com/>

<事務局>

〒106-0044 東京都港区東麻布2-15-2 アンゼン・パックスビル2階

TEL: 03-3568-3827 / FAX: 03-3568-3829 / E-mail: office@atagorotary.com

広報戦略委員長 柳 邦明

